

姉妹都市とのつながりを これからも残していきたい



宇和島R会は、地域のボランティアと姉妹都市との交流の受け皿になるべく、地域のつなぎ役となる活動を行ってきました。

前身の団体である「宇和島南ロータリークラブ」の活動では、平成11（1999）年に姉妹都市である当時の長野県更埴市（現千曲市）の戸倉上山田ロータリークラブと協力し、姉妹都市の絆を深めるとともに「宇和島市に里帰りした小さなアンズの里を作りたい」という思いのもと、市内保田でアンズの苗木の記念植樹を行いました。当時のメンバーが今も定期的が集まって、アンズの木を植えたことを思い出しながら、みんなで和気あいあいと話すごとがあります。

植樹から二十数年がたった今でも、活動の規模は小さくなりましたが、戸倉上山田ロータリークラブとの交流は続いています。メンバーも高齢化し、当時から人数も減りましたが、会は継続して姉妹都市とのつながりをこれからも大切に残していきたいといえます。そして、植樹したことを地域や家族にも伝え残し、千曲市との縁のアンズの木を守っていききたいと温かい言葉で話してくれました。